

# 農業

平成30年9月号  
会誌 No. 1642



## 目次

### 巻頭言

- 進展する内なる国際化……………八木 宏典 3  
-外国人は農村をめざすか-

### 論壇

- 冷凍野菜加工メーカーによる生産・加工の垂直的統合……………納口るり子 4

#### 春期中央農事講演会

- SDGs が目指す持続可能な地域づくりと農林水産業の未来 ……武内 和彦 6  
質疑応答 …………… 19

#### 農事功績者座談会

- 養豚・加工直売等の法人経営および畜産女性の組織活動…………… 24  
男女ともに生き活きと働ける養豚経営を目指して……………松葉 里美 25  
-女性の活躍が未来をつくる-  
現地指導者のコメント……………川端 俊夫 32  
意見交換 …………… 34

#### 表彰農家訪問

- 夫婦で築き上げた土地利用型大規模酪農経営……………横内 圀生 43  
-岩手県岩手町に松本榮さん、良子さん夫妻を訪ねて-

#### 農業・農村の現場から

- 4世代でつなぐモモ農家の想い……………植田 淳子 51  
-和歌山県紀の川市桃山町 稲垣さんの取り組み-

## 世界の農業は今

ベトナムにおける野菜生産の現状……………川頭 洋一 56

## 私の経営と志

日本農業の灯台となる……………山浦 昌浩 62

## 統計情報

平成29年農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率…………… 64

## 農政情報

大日本農会だより…………… 66

編集部から…………… 66

## ミニ情報

豚の飼養戸数・頭数の推移（平成30年2月1日現在）…………… 42

乳用牛の飼養戸数・頭数の推移（平成30年2月1日現在）…………… 50

地理的表示保護制度(GI)に基づき登録された特定農林水産物(13)…………… 55

10月1日から収入保険の加入申請手続きが始まります！…………… 61

### 表紙写真説明

### 収穫期を迎えたリンゴ「秋陽」<sup>しゅうよう</sup>（山形県）

山形県の平成29年産のリンゴ収穫量は47,100tで、都道府県別では青森県、長野県に次いで全国第3位でした。山形県西村山郡朝日町は、昭和45年、全国に先がけ『無袋ふじ』に取り組んだことで有名で、果肉の中にアメ色の蜜がたっぷりに入った『無袋ふじ』のおいしさは全国でも評判です。

この晩生の「ふじ」と早生の「つがる」の収穫の合間の9月下旬～10月中旬には、平成18年に市場デビューした山形オリジナルの新品種「秋陽」の収穫時期を迎えます。「秋陽」は甘酸っぱく濃厚な味わいが人気で、歯ごたえのよい、パリパリとした食感の期待の品種です。

写真は、収穫期を迎えた「秋陽」です。本誌平成29年2月号の表彰農家訪問で紹介しました山形県西村山郡朝日町の菅井勝英氏が、山形県園芸試験場で行われている県主催の「秋陽栽培研修会」で剪定した樹です。菅井氏は、マルバカイドウ台でも早期に主枝を拡大し、樹勢を落ち着かせることにより、結果樹齢を早めることができると考え、樹高を抑制した作業性の良い園地づくりを目指した剪定を行っています。

（山形県村山総合支庁産業経済部西村山農業技術普及課）